

事業計画書(実績書)

令和6年3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)	綾部市地域防災計画に規定する「災害ボランティアセンター」を常設し、平常時から研修や訓練などを通じ参画団体の連携や活動体制の整備を進め、被災者の早期生活復旧を支援することを目的とする。
事業の名称	綾部市災害ボランティアセンター事業
事業費 (市補助金)	1,672,154円 (100,000円)
補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)	綾部市災害ボランティアセンターが主催する、研修会等の経費及び災害時の活動に必要な資機材の整備
事業実施期日	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
事業実施場所	綾部市内一円
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	<p>1) 災害ボランティア活動の情報交換及び調査・研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾部市災害ボランティアセンター運営委員会の開催(5/31、7/28、8/17、8/28、9/15、12/15) <p>2) 研修会や講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講座(5/31:綾部市災害ボランティアセンターの紹介、7/28:ペットと防災(避難)) <p>3) 市外災害ボランティア組織との連携及び協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府災害ボランティアセンター、災害時連携NPO等ネットワークへの加盟 <p>4) 資機材の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資機材倉庫の設置(社協の家つどい敷地内)、ノートパソコン、ファイバースコープ他 <p>5) 台風7号災害ボランティアセンター運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ期間87日、ニーズ受付数44件、ボランティア活動数 延1475人、運営スタッフ数 延446人
補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	<p>1. 台風7号災害ボランティアセンターを立ち上げ、多くの市民の参加のもと、被災者支援活動を行った。専門ボランティアとの連携により、より丁寧な生活復旧支援ができた。</p> <p>2. 災害ボランティア技術講習会を開催し、市内の災害ボランティアのネットワーク構築につなげた。</p>

様式第4号 (第3条、第7条及び第8条関係)

収支予算書 (計算書)

令和6年3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

(単位 円)

収入の部	区分	予算額	収入済額	明細
	市補助金	100,000	100,000	綾部市
	補助金	100,000	400,000	綾部市社協100,000円、府共同募金会300,000円
	台風7号助成		1,174,574	府社協50,000円、府共同募金会824,574円、地域交響300,000円
	自主財源		6,536	前年度繰越
合計	200,000	1,681,110		
支出の部	区分	予算額	支出済額	明細
	謝金	10,000	5,000	あんびしゃす
	旅費	5,000	12,460	府ボラセン総会
	賃借料	20,000	4,800	市民センター2回
	消耗品費	20,000	7,321	お茶、紙コップ
	印刷費	20,000	5,000	コピー代
	備品費	110,000	480,239	倉庫、ノートパソコン、ファイバースコープ
	役務費	15,000	32,760	通信運搬30,760円、手数料2,000円
災害支援費	0	1,124,574	養生シート、養生テープ、塩分タブレット、氷、サテンシール他	
合計	200,000	1,672,154		
差引	0	8,956	次年度へ繰越	